



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 スタンレー電気株式会社

コード番号 6923 URL <http://www.stanley.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北野 隆典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部門長

(氏名) 赤松 知範

TEL 03(6866)2222

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|------|--------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 283,879 | △8.0 | 28,838 | 8.9 | 30,906 | 13.3 | 19,060 | 10.9 |
| 28年3月期第3四半期 | 308,506 | 16.9 | 26,480 | △5.3 | 27,284 | △9.1 | 17,184 | △6.9 |

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 30,006百万円 (176.3%) 28年3月期第3四半期 10,859百万円 (△76.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第3四半期 | 114.64 | 114.58 |
| 28年3月期第3四半期 | 102.81 | 102.74 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第3四半期 | 459,474 | 342,826 | 67.9 |
| 28年3月期 | 431,104 | 321,631 | 68.0 |

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 312,083百万円 28年3月期 292,987百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 17.00 | — | 17.00 | 34.00 |
| 29年3月期 | — | 18.00 | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | — | — | 18.00 | 36.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|-----------------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 380,000 | △6.0 | 41,500 | 12.8 | 43,500 | 10.4 | 27,500 | 7.7 |
| | | | | | | | | 165.50 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 29年3月期3Q | 176,700,000 株 | 28年3月期 | 177,100,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 29年3月期3Q | 10,881,479 株 | 28年3月期 | 10,610,180 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 29年3月期3Q | 166,261,879 株 | 28年3月期3Q | 167,153,481 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的な営業の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、弱さも見られましたが、緩やかな回復が続きま

した。一方、世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州では緩やかに回復しました。アジアでは総じて

緩やかな回復傾向となり、中国では成長率の低下傾向からの持ち直しの動きが見られました。以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）では、グローバルでの市場ニーズを的確に捉えた製品開発、及び受注拡大を目指した営業力強化や生産能力の増強、そして生産工程や間接部門の徹底的なムダ取りといった生産革新活動による生産性向上等を着実に実行しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は2,838億7千9百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は288億3千8百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益は309億6百万円（前年同期比13.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は190億6千万円（前年同期比10.9%増）と減収増益になりました。

② セグメント情報の概況

1) 自動車機器事業

世界の自動車生産台数は、米州、アジアで横ばい、日本で微増、欧州、中国で増加となり、全体として増加となりました。二輪車生産台数では、日本、欧州で増加、アジアで微増となったものの、米州、中国で減少となり、全体として微減となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、前期、米州の金型会計処理の統一による一時的な売上の増加があったことと、為替が円高に推移したことが影響し減収となったものの、当社が光源から一貫して製造しているLEDヘッドランプの採用車種が増加したことに加え、前期の一過性費用からの回復により、増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は2,237億5千2百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益は177億6千2百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

2) コンポーネンツ事業

当セグメントが関連する車載市場、LED照明市場は増加、情報通信市場は微増となったものの、遊技市場、AV市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業（LED、液晶等）は、遊技、AV市場及び産業機器向け等のLED、自動車用電球が減少し減収となったものの、LEDヘッドランプなどの光源として用いられる車載用LEDが増加したことで、増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は215億7千7百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益は44億4千8百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメントが関連する車載インテリア市場、LED照明市場は増加となったものの、OA市場は微減、AV市場のうちカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業（LED照明製品、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル等）は、PC用バックライト、ストロボが減少し、減収となったものの、社内向けLED灯体の光源や制御等に用いる電子基板が増加し増益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は383億2千6百万円（前年同期比17.0%減）、営業利益は47億1千8百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,594億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ283億7千万円増加しております。主な要因は、流動資産が160億6千6百万円及び固定資産が123億3百万円増加したことによるものです。流動資産の増加は、現金及び預金が増加したこと及び受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものです。固定資産の増加は、主に生産能力の増強のため設備投資を行ったことにより有形固定資産が増加したこと及び株価の上昇等により投資有価証券が増加したこと等によるものです。

負債は1,166億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億7千4百万円増加しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものです。

純資産は3,428億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ211億9千5百万円増加しております。主な要因は、株主資本が113億6百万円増加し、その他の包括利益累計額が77億9千万円増加したこと等によるものです。株主資本の増加は、配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金等が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、業績予想の変更はありません。
当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、為替等のリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 84,127 | 96,727 |
| 受取手形及び売掛金 | 65,915 | 72,181 |
| 有価証券 | 3,899 | — |
| たな卸資産 | 31,048 | 33,083 |
| 繰延税金資産 | 2,263 | 1,612 |
| その他 | 20,317 | 20,030 |
| 貸倒引当金 | △23 | △20 |
| 流動資産合計 | 207,547 | 223,614 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 57,852 | 63,179 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 46,884 | 51,023 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 23,752 | 24,652 |
| 土地 | 13,035 | 13,102 |
| リース資産（純額） | 370 | 332 |
| 建設仮勘定 | 19,943 | 15,070 |
| 有形固定資産合計 | 161,838 | 167,360 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 216 | 146 |
| その他 | 5,951 | 5,500 |
| 無形固定資産合計 | 6,168 | 5,646 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 51,542 | 58,553 |
| 繰延税金資産 | 1,683 | 2,282 |
| その他 | 2,324 | 2,017 |
| 投資その他の資産合計 | 55,549 | 62,853 |
| 固定資産合計 | 223,556 | 235,860 |
| 資産合計 | 431,104 | 459,474 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 44,186 | 49,316 |
| 短期借入金 | 11,057 | 12,812 |
| リース債務 | 154 | 134 |
| 未払法人税等 | 3,389 | 2,212 |
| 繰延税金負債 | 34 | 10 |
| 賞与引当金 | 3,147 | 1,535 |
| 役員賞与引当金 | 113 | 104 |
| その他 | 15,263 | 20,086 |
| 流動負債合計 | 77,347 | 86,213 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | 10,000 |
| リース債務 | 234 | 214 |
| 繰延税金負債 | 6,877 | 10,152 |
| 役員退職慰労引当金 | 49 | 54 |
| 退職給付に係る負債 | 12,844 | 7,390 |
| 資産除去債務 | 503 | 474 |
| その他 | 1,616 | 2,146 |
| 固定負債合計 | 32,125 | 30,434 |
| 負債合計 | 109,472 | 116,647 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 30,514 | 30,514 |
| 資本剰余金 | 29,878 | 29,878 |
| 利益剰余金 | 238,917 | 251,353 |
| 自己株式 | △20,109 | △21,239 |
| 株主資本合計 | 279,200 | 290,506 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,202 | 21,763 |
| 為替換算調整勘定 | 638 | 1,259 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △5,054 | △1,445 |
| その他の包括利益累計額合計 | 13,786 | 21,576 |
| 新株予約権 | 202 | 292 |
| 非支配株主持分 | 28,441 | 30,451 |
| 純資産合計 | 321,631 | 342,826 |
| 負債純資産合計 | 431,104 | 459,474 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 308,506 | 283,879 |
| 売上原価 | 251,013 | 223,667 |
| 売上総利益 | 57,493 | 60,212 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,012 | 31,373 |
| 営業利益 | 26,480 | 28,838 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 379 | 234 |
| 受取配当金 | 505 | 531 |
| 持分法による投資利益 | 1,004 | 1,196 |
| 受取ロイヤリティー | 920 | 841 |
| 雑収入 | 429 | 430 |
| 営業外収益合計 | 3,238 | 3,234 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 214 | 129 |
| 為替差損 | 1,640 | 173 |
| 特別調査費用 | 168 | 241 |
| 雑損失 | 410 | 622 |
| 営業外費用合計 | 2,434 | 1,166 |
| 経常利益 | 27,284 | 30,906 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 16 | 26 |
| 投資有価証券売却益 | — | 38 |
| 特別利益合計 | 16 | 64 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 580 | 1,238 |
| 投資有価証券評価損 | — | 47 |
| 特別損失合計 | 580 | 1,286 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 26,720 | 29,684 |
| 法人税等 | 7,327 | 7,249 |
| 四半期純利益 | 19,392 | 22,435 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,208 | 3,374 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 17,184 | 19,060 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 19,392 | 22,435 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △609 | 3,559 |
| 為替換算調整勘定 | △6,750 | 213 |
| 退職給付に係る調整額 | 218 | 3,609 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1,391 | 189 |
| その他の包括利益合計 | △8,533 | 7,571 |
| 四半期包括利益 | 10,859 | 30,006 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,227 | 26,850 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 632 | 3,155 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位：百万円)

| | 自動車 機器事業 | コンポーネ ンツ事業 | 電子応用 製品事業 | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 238,413 | 23,138 | 46,155 | 798 | — | 308,506 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 216 | 12,330 | 17,488 | 1,858 | △ 31,894 | — |
| 計 | 238,630 | 35,469 | 63,644 | 2,656 | △ 31,894 | 308,506 |
| セグメント利益 | 15,996 | 3,772 | 4,671 | 59 | 1,980 | 26,480 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,980百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,041百万円、セグメント間取引消去4,249百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位：百万円)

| | 自動車 機器事業 | コンポーネ ンツ事業 | 電子応用 製品事業 | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 223,752 | 21,577 | 38,326 | 224 | — | 283,879 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 248 | 12,365 | 22,259 | 1,929 | △ 36,802 | — |
| 計 | 224,000 | 33,942 | 60,585 | 2,154 | △ 36,802 | 283,879 |
| セグメント利益 | 17,762 | 4,448 | 4,718 | 24 | 1,883 | 28,838 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,883百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,332百万円、セグメント間取引消去4,299百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。